

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和4年6月に「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」を公表した（詳細は2022年8月号参照）。

令和3砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：174万5000トン（前回見通しから1万1000トン減）

総供給量：175万トン（同3万3000トン減）

【加糖調製品】

消費量および供給量：44万6000トン（同1万4000トン減）

【異性化糖】

消費量および供給量：76万4000トン（同7000トン減）

表1 令和3砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計	
			10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,710	462.3	397.5	431.6	418.6	1,710	
	含みつ糖	35	7.2	11.0	9.6	7.6	35	
	合計	1,745	469.5	408.5	441.2	426.2	1,745	
供給量	国内産糖	分みつ糖	772	382.3	354.9	46.4	-	784
		含みつ糖	10	0.7	6.6	3.6	-	11
		小計	782	383.0	361.5	50.0	-	795
	輸入糖	分みつ糖	1,025	253.8	138.6	296.9	259.0	948
		含みつ糖	8	1.4	2.4	2.1	0.9	7
		小計	1,032	255.2	141.0	299.0	259.9	955
	合計	分みつ糖	1,797	636.1	493.5	343.3	259.0	1,732
		含みつ糖	18	2.1	9.0	5.7	0.9	18
		小計	1,815	638.2	502.5	349.0	259.9	1,750
	期末在庫		429	583.4	660.8	572.2	405.9	406

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和3砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	460	111.8	113.1	114.0	106.7	446
供給量	460	111.8	113.1	114.0	106.7	446

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和3砂糖年度の消費量は、令和2砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和3砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	750	166.5	169.4	222.4	205.9	764
供給量	750	166.5	169.4	222.4	205.9	764

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

6月の輸入量は前年同月から大幅に減少

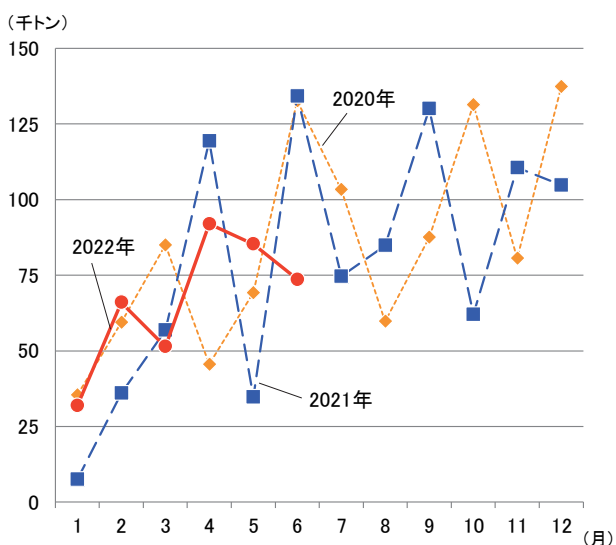
財務省「貿易統計」によると、2022年6月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、7万3571トン（前年同月比45.2%減、前月比13.7%減）であった（図1）。

輸入先は甘しや糖・分みつ糖についてはタイ、甘しや糖・その他については豪州で、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図2）。

タイ 8997トン
(前年同月比63.9%減、前月輸入実績なし)

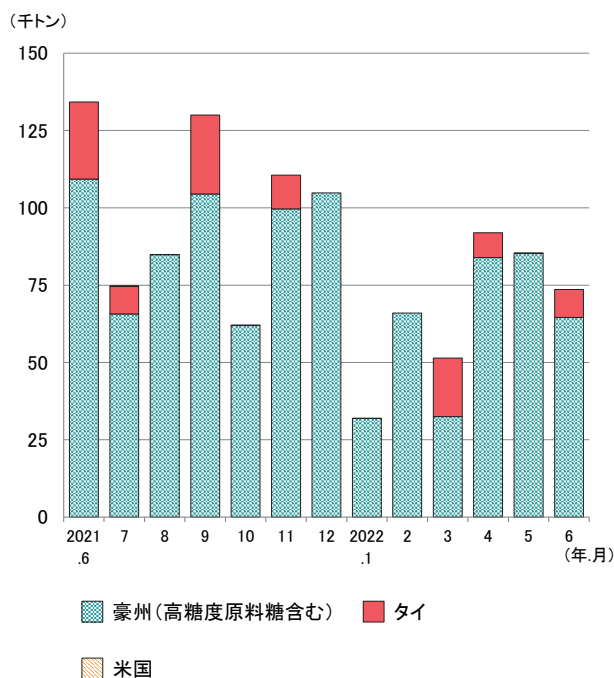
豪州 6万4574トン
(同40.9%減、前月比24.3%減)

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

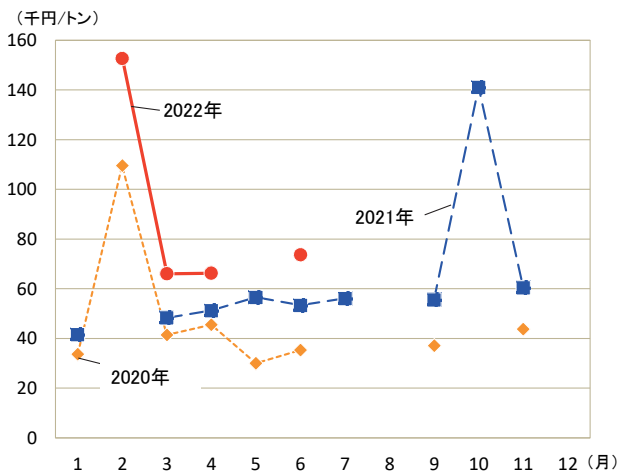
2022年6月の甘しや糖・分みつ糖の1トン当たりの輸入価格は、7万3703円（前年同月比38.2%高、前月輸入実績なし）であった（図3）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 7万3703円
(前年同月比38.2%高、前月輸入実績なし)

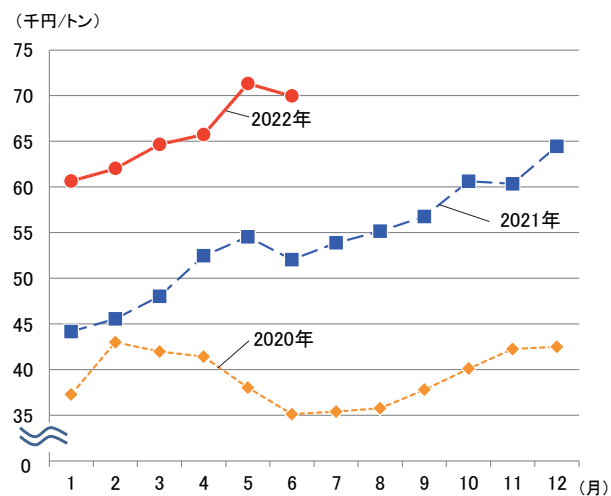
また、同月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、6万9966円（前年同月比34.5%高、前月比1.9%安）であった（図4）。

図3 粗糖 (HSコード1701.14-110) の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2020年7月、8月、10月、12月、2021年2月、8月、12月、2022年1月および5月は輸入実績なし。

図4 高糖度原料糖 (HSコード1701.14-200の豪州) の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含みつ糖の輸入動向】

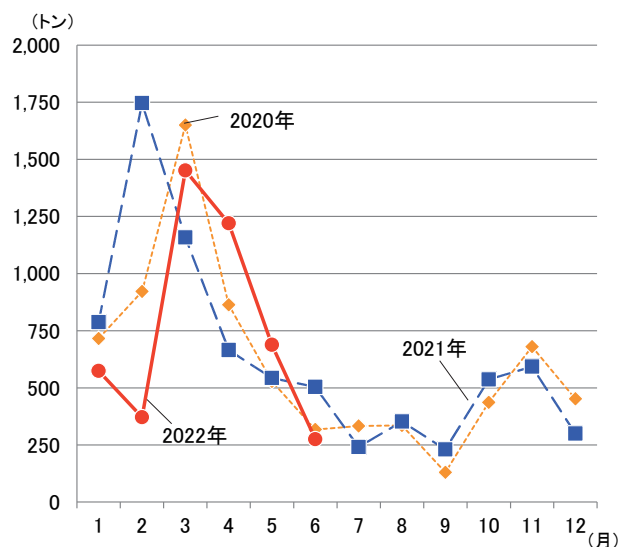
6月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年6月の含みつ糖 (HSコード 1701.13-000、1701.14-190) の輸入量は、275トン (前年同月比45.4%減、前月比60.0%減) であった (図5)。

輸入先は中国、フィリピン、インドで、国・地域別の輸入量は次の通りであった (図6)。

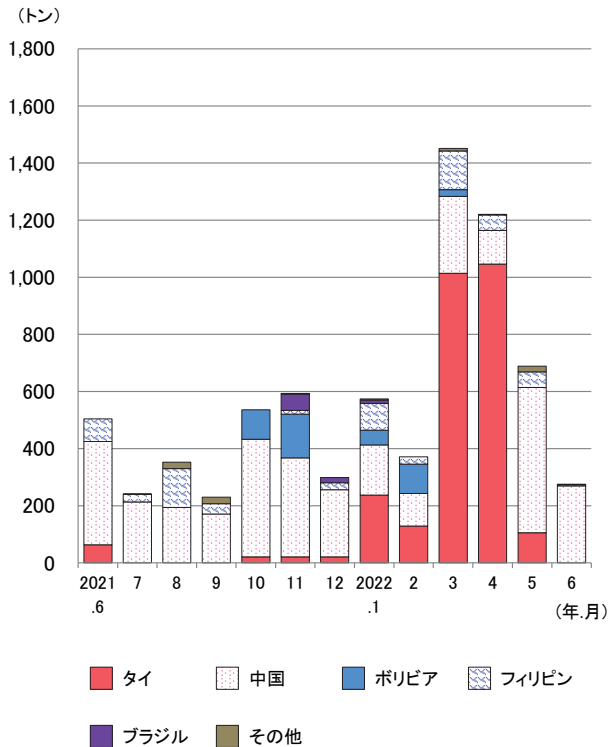
中国	269トン
	(前年同月比25.7%減、前月比47.2%減)
フィリピン	5トン
	(同93.7%減、同90.9%減)
インド	1トン
	(前年同月および前月輸入実績なし)

図5 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図6 含みつ糖の国・地域別輸入量の推移



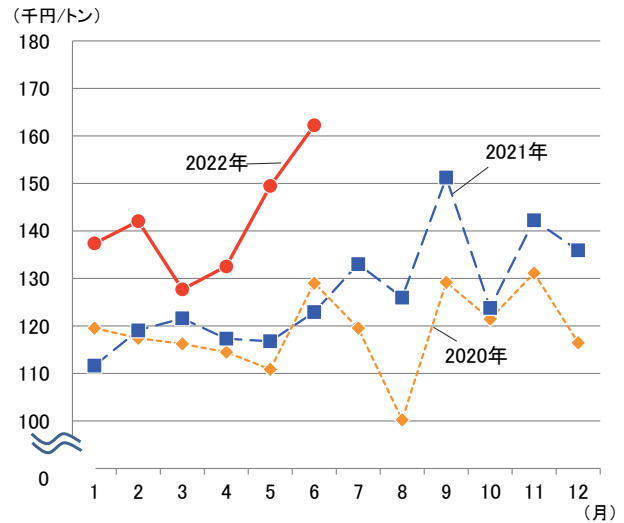
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2022年6月の1トン当たりの輸入価格は、16万2255円（前年同月比32.0%高、前月比8.6%高）であった（図7）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	16万286円
	（前年同月比24.2%高、前月比6.2%高）
フィリピン	24万5200円
	（同2.0倍、同51.6%高）
インド	27万7000円
	（前年同月および前月輸入実績なし）

図7 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

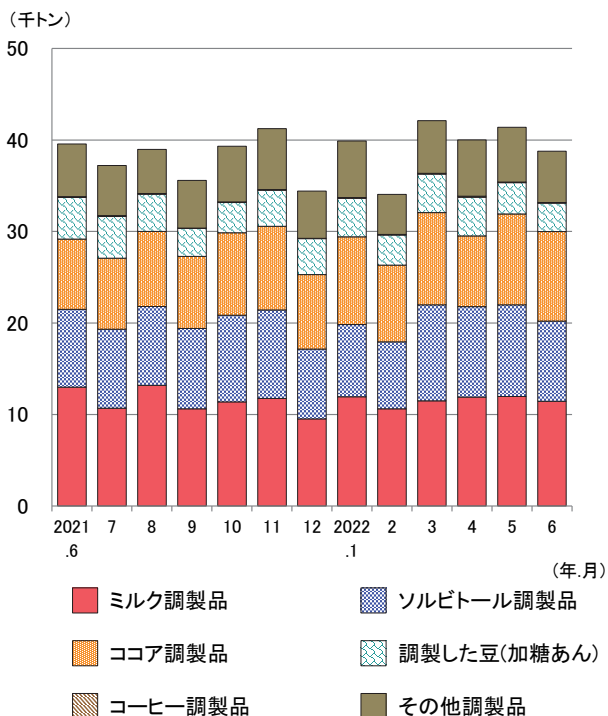
【加糖調製品の輸入動向】

6月の加糖調製品の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2022年6月の加糖調製品の輸入量は、3万8735トン（前年同月比2.0%減、前月比6.4%減）であった（図8）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図8 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは、次の通り。

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、
1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、
1806.90-212、1806.90-213

コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、
2101.12-246

調製した豆(加糖あん)：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、
2005.51-199

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2008.99-218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、
2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品品目別輸入量(6月)

(単位：トン)

区分	輸入量	前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	11,450	▲ 11.8%	▲ 4.3%
ソルビトール調製品	8,749	3.0%	▲ 12.8%
ココア調製品	9,780	27.0%	▲ 1.5%
調製した豆(加糖あん)	3,112	▲ 31.7%	▲ 8.8%
コーヒー調製品	44	▲ 11.1%	▲ 20.9%
その他調製品	5,601	▲ 2.7%	▲ 6.7%
合計	38,735	▲ 2.0%	▲ 6.4%

資料：財務省「貿易統計」

注：端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

3. 異性化糖の移出動向

7月の移出量は前年同月並みで推移

2022年7月の異性化糖の移出量は、8万6102トン(前年同月同、前月比6.5%増)であった(図9)。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった(図10)。

果糖含有率40%未満 345トン

(前年同月比17.1%減、前月比10.4%減)

同40%以上50%未満 1万9423トン

(同2.4%減、同2.6%減)

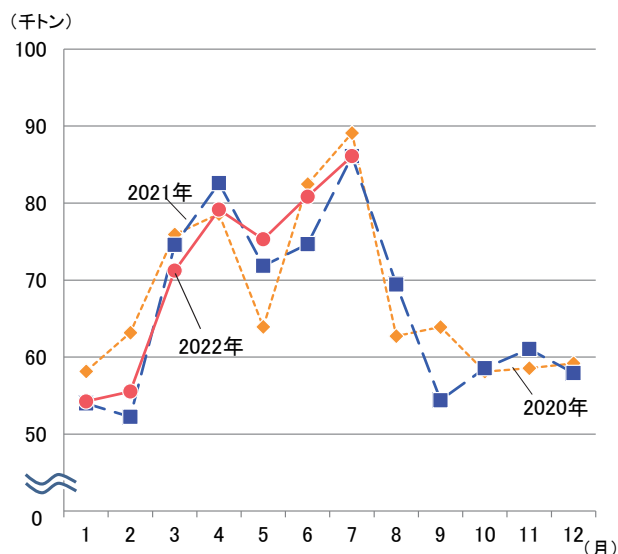
同50%以上60%未満 6万5562トン

(同0.6%増、同9.9%増)

同60%以上 773トン

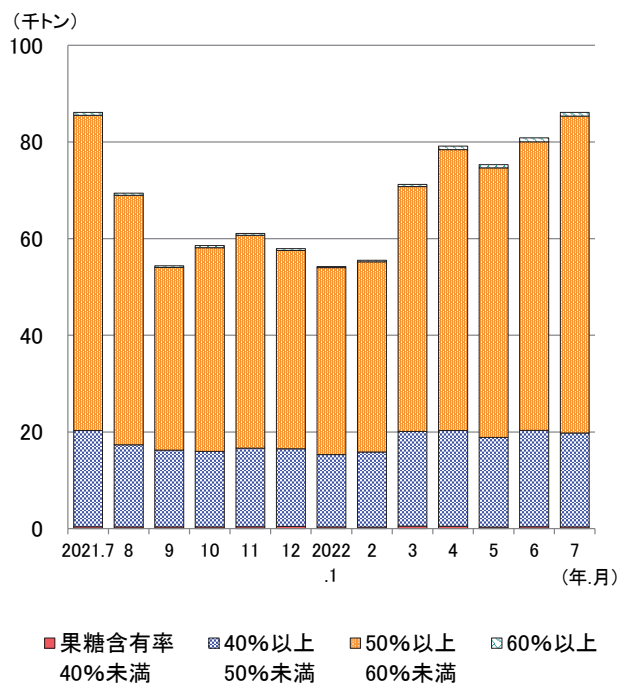
(同30.5%増、同6.6%減)

図9 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

7月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり204~205円

大阪 同204~205円

名古屋 同208円

関門 同208円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり216~219円

大阪 同219円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり209~210円

大阪 同209~210円

名古屋 同213円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり204~205円

大阪 同204~205円

名古屋 同206円

7月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり146~147円

果糖分55%もの

同152~153円

【小売価格】

7月上白糖小袋の地域間の価格差は最大で23.9円

マーチャンドライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗）によると、スーパーにおける7月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、213.3円（前年同月差15.1円高、前月差0.4円高）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かった首都圏との価格差は23.9円であった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（7月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	224.6	14.7	0.6
東北	215.4	13.6	1.1
関東など	204.2	7.7	2.0
首都圏	200.7	11.9	4.8
中部	210.7	19.5	2.2
関西	201.2	13.6	▲ 1.1
中国・四国	218.8	15.2	0.3
九州・沖縄	221.9	19.9	▲ 1.4
全平均	213.3	15.1	0.4

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

7月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で71.9円

マーチャンドライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗）によると、スーパーにおける7月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、260.0円（前年同月差11.9円高、前月差0.7円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は71.9円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（7月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	220.0	8.3	0.0
東北	291.9	▲ 2.0	0.0
関東など	289.0	12.6	0.1
首都圏	267.5	7.7	2.7
中部	257.3	16.0	3.2
関西	246.1	12.6	0.7
中国・四国	254.3	12.2	▲ 0.5
九州・沖縄	254.2	10.8	0.0
全平均	260.0	11.9	0.7

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

7月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で49.6円

マーチャンドライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗）によると、スーパーにおける7月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、246.2円（前年同月差11.5円高、前月差0.4円高）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かった首都圏との価格差は49.6円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（7月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	280.7	24.3	▲ 0.1
東北	263.6	9.0	▲ 0.2
関東など	234.1	5.3	▲ 1.3
首都圏	231.1	2.6	0.1
中部	252.8	15.8	3.1
関西	240.6	2.4	0.1
中国・四国	254.4	15.4	0.1
九州・沖縄	238.1	14.8	0.4
全平均	246.2	11.5	0.4

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDSPOS（全国1243店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

【支出金額および購入数量】

6月の砂糖の支出金額は前年同月からわずかに低下

総務省「家計調査」によると、2022年6月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は42、1世帯（二人以上）当たりの支出金額は138円（前年同月比1.4%安、前月比35.3%高）であった（図11）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、456グラム（同1.3%減、同31.0%増）であった（図12）。

図11 1世帯当たりの砂糖に係る支出金額の推移

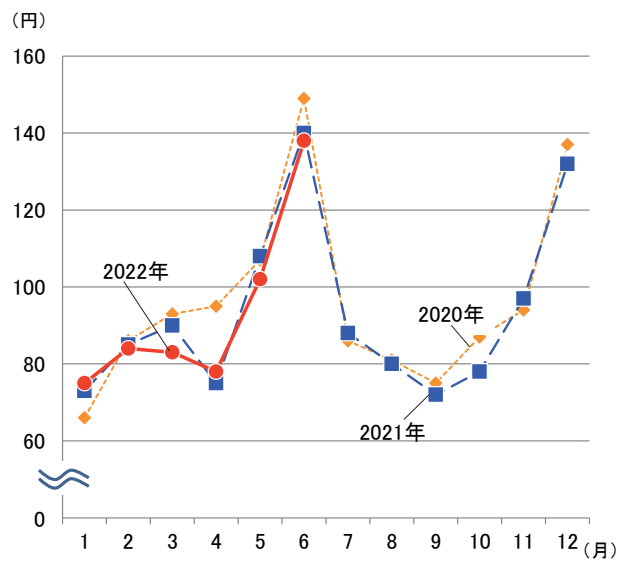


図12 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移

